

ネイティブ バークホルデリア属 リポタンパク質リパーゼ

Cat. No. NATE-0417

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 リポタンパク質リパーゼ(LPL)は、グリセロールエステル加水分解酵素です。LPLを生成す

るいくつかの細菌は、シュードモナス属、セラチア属、ムコール属に属します。リポタンパク質リパーゼは、血漿リポタンパク質中のトリグリセリドを加水分解し、筋肉や脂肪組織での代

謝目的のために脂肪酸を放出します。

用途 リポタンパク質リパーゼは、大腸癌における脂肪生成酵素の役割を評価する研究に使用されま

した。また、ラットにおける低分子量へパリンのリパセミック活性を調□する研究にも使用さ

れました。

別名 リポタンパク質リパーゼ; クリアリングファクターリパーゼ; ジグリセリドリパーゼ; ジアシル

グリセロールリパーゼ; ポストヘパリンエステラーゼ; ジグリセリドリパーゼ; ポストヘパリン

リパーゼ; ジアシルグリセロールヒドロラーゼ; リピーミアクリアリングファクター; EC

3.1.1.34; 9004-02-8; LPL

製品情報

由来 バークホルデリア属

形態 凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.1.1.34

*CAS*登□番号 9004-02-8

活性 > 50,000 ユニット/mg 固体

単位定義 1ユニットは、p-nitrophenyl butyrateを基質として使用し、37°CでpH 7.2の条件下で1分

あたり1.0 nmoleのp-nitrophenolを放出します。

保管・発送情報

保存方法 −20°C